

第 20 回教育委員会会議

令和 5 年 12 月 19 日
午後 3 時 30 分
本庁舎第 11 共通会議室

案 件

報告第41号

令和 6 年度全国学力・学習状況調査について

令和 6 年度全国学力・学習状況調査について

文部科学省が実施する令和 6 年度全国学力・学習状況調査について、同実施要領等に沿って、次のとおり参加する。

【本体調査（悉皆調査）】

- 調査実施日 令和 6 年 4 月 18 日（木）
- 調査対象 小学校第 6 学年 全 284 校
中学校第 3 学年 全 131 校
- 調査内容 教科に関する調査
小学校（国語、算数）
中学校（国語、数学）
質問調査（児童生徒質問調査、学校質問調査）

※義務教育学校前期課程は小学校に、義務教育学校後期課程は中学校に読み替える。

（参考）時間割

◆小学校

調 査 日	1 時限目	2 時限目	
	国語 (45 分)	算数 (45 分)	児童質問調査 (20～40 分程度)

※児童質問調査は、2 時限目終了後に、各学校の状況に応じて、柔軟に実施可能。

◆中学校

調 査 日	1 時限目	2 時限目	
	国語 (50 分)	数学 (50 分)	生徒質問調査 (20～45 分程度)

※生徒質問調査は、2 時限目終了後に、各学校の状況に応じて、柔軟に実施可能。

〈補足〉

※質問調査は、全てオンラインで実施。

【経年変化分析調査（抽出調査）】

- 調査実施日 令和6年5月13日（月）～6月28日（金）で抽出校が実施可能な日
- 調査対象 文部科学省が指定する学校の小学校6年生・中学校3年生
※対象となる学校は、文部科学省で抽出の上、実施方法（PBT/CBT）及び実施する教科とともに指定。
- 調査内容 教科に関する調査〈国語、算数・数学、英語（中学校）のうち1教科〉

【保護者に対する調査（抽出調査）】

- 調査実施日 令和6年5月13日（月）～6月28日（金）で抽出校が実施可能な期間
- 調査対象 経年変化分析調査を実施する学校の児童生徒の保護者
※PBT実施校の保護者は、冊子を用いた筆記方式で、CBT実施校の保護者は、オンライン方式で実施。
- 調査内容 質問調査

令和6年度全国学力・学習状況調査について

R5.11.10 一部更新

1. 令和6年度全国学力・学習状況調査の概要

(1) 本体調査（悉皆）

○実施予定日

令和6年4月18日（木）

○調査対象

国・公・私立学校の小学校6年生・中学校3年生

○調査内容

- ・教科に関する調査（国語、算数・数学）
 - ・質問調査（児童生徒質問調査、学校質問調査）
- ※質問調査は、全てオンラインで実施

(2) 経年変化分析調査（抽出）

○調査日程・期間

令和6年5月13日（月）～6月28日（金）のうち
対象校の都合のよい日時（時間割イメージは別紙のとおり）

○調査対象

- ・国・公・私立学校のうち、文部科学省が指定する学校の小学校6年生・中学校3年生。
- ・対象となる学校は、文部科学省で抽出の上、実施方法（PBT/CBT）及び実施する教科とともに指定。

○調査内容

- ・教科に関する調査（国語、算数・数学、英語のうち1教科）

○調査対象規模

	PBT 実施校	CBT 実施校	対象校数合計
小学校	国語・算数 それぞれ300校 (約1.6万人)	国語・算数 それぞれ300校 (約1.6万人)	1,200校(約6.6万人)
中学校	国語・数学・英語 それぞれ250校 (約2.6万人)	国語・数学・英語 それぞれ250校 (約2.6万人)	1,500校(約16万人)

(3) 保護者に対する調査（抽出）

○調査日程・期間

令和6年5月13日（月）～6月28日（金）

○調査対象

- ・経年変化分析調査を実施する学校の児童生徒の保護者。
- ・PBT 実施校の保護者は、冊子を用いた筆記方式で、
- CBT 実施校の保護者は、オンライン方式（受託事業者の Web システム）で実施。

○調査内容

- ・質問調査

2. 令和6年度調査の実施方式

(1) 本体調査（悉皆）

【小学校】

	実施方式	(オンライン方式の場合) 用いるシステム
教科に関する調査	冊子を用いた筆記方式	—
児童質問調査	オンライン方式 ※1	受託事業者の Web システム
学校質問調査	オンライン方式	受託事業者の Web システム

【中学校】

	実施方式	(オンライン方式の場合) 用いるシステム
教科に関する調査	冊子を用いた筆記方式	—
生徒質問調査	オンライン方式 ※1	MEXCBT
学校質問調査	オンライン方式	受託事業者の Web システム

※1 点字の場合のみ、冊子方式とする。

(2) 経年変化分析調査（抽出）

【PBT 実施校（小国、小算、中国、中数）】

	実施方式	(オンライン方式の場合) 用いるシステム
教科に関する調査	冊子を用いた筆記方式	—

【PBT 実施校（中英）】

	実施方式	(オンライン方式の場合) 用いるシステム
教科に関する調査 「聞くこと」「読むこと」 「書くこと」	冊子を用いた筆記方式	—
教科に関する調査 「話すこと」	オンライン方式	MEXCBT

【CBT 実施校（小国、小算、中国、中数）】

	実施方式	(オンライン方式の場合) 用いるシステム
教科に関する調査	オンライン方式	MEXCBT

【CBT 実施校（中英）】

	実施方式	(オンライン方式の場合) 用いるシステム
教科に関する調査 「聞くこと」「読むこと」 「書くこと」	オンライン方式	MEXCBT
教科に関する調査 「話すこと」	オンライン方式	MEXCBT

3. 今後の主なスケジュール（予定）

○10月～11月

【経】経年変化分析調査・保護者に対する調査の対象校の選定
(文部科学省により抽出)

○11月

【本】学校基本情報の確認 等

対象：都道府県・市（区）町村教育委員会

(各設置者管内の学校住所・連絡先情報等の登録、通称「AB 調査」)

【経】経年変化分析調査・保護者に対する調査の対象校決定通知

○12月

【本】令和6年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領の策定

担当者会議

参加意向調査

【経】経年変化分析調査のオンライン実施に関する説明会

○令和6年1月

【本】学校基本情報の確認 等

対象：参加予定学校

(参加予定の各学校の児童生徒数等の情報の登録、通称「CD 調査」)

【経】経年変化分析調査の実施日希望調査

<参考：令和6年度経年変化分析調査の時間割イメージ>

○小学校

抽出校の都合の良い1時限 (45分)
国語または算数 (40分)

○中学校（国語、数学）

抽出校の都合の良い1時限 (50分)
国語または数学 (45分)

○中学校（英語）

1時限目 (50分)	2時限目 (50分)	3時限目 (50分)	4時限目 (50分)
英語「聞くこと」「読むこと」 「書くこと」 (45分)	英語「話すこと」 (学校の状況に応じて、分散して実施)		

※「話すこと」調査の所要時間は、5分～10分程度。

※「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」、「話すこと」に関するすべての問題を6時限以内で終了する設計とする。

※「話すこと」の調査においては、生徒間で調査に伴う音声がかえりにくい距離を保つこととし、1学級を数回に分けて実施することを基本とする。また、ヘッドセットは令和5年度調査で各中学校に配布したものを使用するため、廃棄せずに適切に保管すること。